

【グローバルセキュリティ領域に関する Q&A】

Q1 グローバルセキュリティ領域では何を学ぶのですか

- A 世界の安全保障問題や国際テロ、難民や貧困の問題、さらには海外に渡航する邦人の安全確保の問題など、国外の危機や脅威に関することを学びます。

Q2 英語が少し苦手なのですが、大丈夫でしょうか

- A もちろん英語など外国語ができた方が望ましいですが、基本的には講義やゼミは日本語で行い、使用するテキストも日本語のものを使用しますので問題ありません。英語は1年生から必修授業がたくさんありますので、一日も早く苦手意識をなくしてください。

Q3 この学部のグローバルセキュリティ領域でしか学べない授業は何ですか

- A 日本のほとんどの大学では大学院の段階で安全保障論を教えていますが、危機管理学部では学部のカリキュラムに安全保障論を取り入れています。さらに戦略を学ぶストラテジー、防衛政策や防衛法制、国際テロリズム論、海外安全対策といった授業もこの学部ならではの授業だといえます。

Q4 ゼミナールではどのようなことを学ぶのですか

- A 危機管理学部では研究者教員による演習を「ゼミナール」と呼び、実務家教員による演習を「特殊研究」と呼称していますが、テーマは、国際テロリズム、国際人道法、各国の安全保障会議（NSC）、北朝鮮のミサイル問題、日本の国際貢献などで、学生がゼミか特殊研究かを選択し、自主的に調べて討論しています。